日本パーソナリティ心理学会第 84 回常任理事会議事録

日時：2007 年 10 月 27 日（土）15：00～18：30
場所：東洋大学 2 号館 2 階第 1 会議室
出席：杉山，有光，北村，浮谷，荒川，渡邊，中村，黒澤（国際交流委員）
委任：藤田，菅原，松田，小塩，首藤，佐藤，川野
事務局：加藤

報告事項および審議事項

1　各種委員会報告

（1）機関誌編集委員会

1）活動報告
①パーソナリティ研究第 16 巻 2 号の編集状況について
　16 本（原著 5，資料 5，展望 1，ｼｮｰﾄﾚﾎﾟｰﾄ 5）を，2008 年 2 月中の刊行を予定している。

掲載番号	種別	題目	筆頭者	受稿	受理
16-2-1	原著	行動－状態志向性測定の信頼性と妥当性の検討	青林 唯	2006.9.23	2007.5.7
16-2-2	原著	大学生における敵意と抑うつの関係に意識的防衛性が及ぼす影響	裙本 知子	2006.12.19	2007.8.13
16-2-3	原著	成人期の女性のワーク･ファミリー･コンフリクトと精神的健康の関連	松浦素子	2006.9.22	2007.8.16
16-2-4	原著	男子青年における進路選択時の親子間コミュニケーションとアイデンティティとの関連	高橋　彩	2007.1.18	2007.8.29
16-2-5	原著	青年期における特性罪悪感の構造－罪悪感の概念整理と精神分析理論に依拠した新たな特性罪悪感尺度の作成－	大西将史	2006.10.31	2007.9.5
16-2-6	資料	4要件理論に基づく主張性と社会的情報処理および精神的適応との関連	渡部 麻美	2006.10.4	2007.5.30
16-2-7	資料	青年用刺激希求尺度の信頼性･妥当性の検討	柴田 由己	2007.2.1	2007.7.16
16-2-8	資料	拡張版反応スタイル尺度の作成	松本麻友子	2006.11.20	2007.8.15
16-2-9	資料	クラシックバレエを題材とした初心者の内的意識の変化に関する検討	山下麻理子	2006.12.16	2007.8.17
16-2-10	資料	大学生の解離体験と防衛機制およびコーピングとの関連について	吉住 隆弘	2006.11.1	2007.9.25
16-2-11	展望	1990年から2003年の日本における抑うつ研究の方法に関する検討	奥村泰之	2007.4.2	2007.8.31
16-2-12	ｼｮｰﾄﾚﾎﾟｰﾄ	友人関係場面における感情経験と自律的な動機づけとの関連	岡田 涼	2006.11.2	2007.5.17
16-2-13	ｼｮｰﾄﾚﾎﾟｰﾄ	ドライ，ウエットなパーソナリティの認知と気体，液体の運動パターンとの関係	大塚 巌	2006.10.17	2007.8.10
16-2-14	ｼｮｰﾄﾚﾎﾟｰﾄ	高不安者における選択的注意と注意の解放の困難さ	大友和則	2007.1.29	2007.8.10
16-2-15	ｼｮｰﾄﾚﾎﾟｰﾄ	日本語版未来結果熟慮尺度の作成と信頼性･妥当性の検討	井上美沙	2007.5.9	2007.10.3
16-2-16	ｼｮｰﾄﾚﾎﾟｰﾄ	Rumination-Reflection Questionnaire日本語版作成の試み	高野 慶輔	2007.6.19	2007.10.3

以上の論文掲載が承認された。

③投稿状況・審査状況

投稿状況

年	月	原著	資料	ｼｮｰﾄﾚﾎﾟｰﾄ	展望他	合計	うち電子投稿	備考
2006	10	5	2	1	0	8	5	
	11	2	1	3	0	6	5	
	12	2	1	0	0	3	3	
2007	1	2	0	1	0	3	3	
	2	1	2	1	0	4	4	
	3	2	0	1	0	3	2	
	4	6	3	0	1	10	10	
	5	6	0	3	0	9	9	
	6	0	1	4	0	5	5	
	7	0	2	2	0	4	4	
	8	5	0	2	0	7	7	
	9	5	0	1	0	6	5	
	10	2	1	3	0	6	5	10/24現在
合計		38	13	22	1	74	67	

採択状況

年月	採択	要修正再審査	不採択	投稿取下	備考
2006/4	4	7	0	0	
5	3	9	0	2	
6	0	6	0	3	
7	1	16	2	1	
8	8	9	2	1	
9	2	9	1	0	
10	4	7	1	1	10/24現在
合計	22	63	6	8	

2）編集規程の改定

別紙のような編集規程の改定案が提出された。主な点は以下のような点であり，承認された。

①投稿論文は，和文・英文で投稿できる。

②非会員の研究成果の発表は，常任理事会の協議事項とする。

③ショートレポートに掲載された論文は，新たな内容・データを含めた論文を，本誌の原著，資料等に投稿することができる。新たなデータを加え，かつ，それに伴う新たな考察を加えるという意味で承認された。

④超過分の印刷費用は著者の負担とする。

⑤投稿論文の書き方は，日本心理学会の執筆・投稿の手引き（最新版）に準拠する。

⑥ショートレポートは 100 語以内の英文アブストラクトを添える。
⑦投稿は電子投稿とする。
⑧転載と公開を禁じる。

3）転載等に関する申し合わせについて，議論され，当面の間，機関誌に掲載された論文（本文）をそのまま転載するのは認めることとし，機関リポジトリも同様の扱いとすることとした。

4）転載依頼について
　以下の 3 つの論文に関する転載許可申請が提出された。
＊岡田努 (2002)現代大学生の「ふれ合い恐怖的心性」と友人関係の関連についての考察 性格心理学研究,10,69-84.
＊岡田努(2007)大学生における友人関係の類型と，適応及び自己の諸側面の発達の関連について　パーソナリティ研究,15,135-148.
　岡田氏の 2 つの論文については承認された。
　もう 1 つの論文については，申請者の責任のもと，申請者の判断にゆだねることとした。

（2）経常的研究交流委員会

1）第 16 回大会でのシンポジウムの実施について
「パーソナリティ理解のためのダイナミカルアプローチ：人との関わり・文化・体験学習」と「若き心理学者たちの模索：主要な研究法を巡って」のシンポジウムを企画・実施した。
2）講演・パネルディスカッション
　10 月 14 日（日）　東洋大学白山キャンパスにて,「演劇における How　To　個性記述―パーソナリティの記述のもうひとつのかたちを求めて―」を実施した。
　参加者 80 名程度であり，関係者以外の参加費の支払いは 56 名であった。
3）次回の企画
　テーマは「子育て」で企画中

（3）広報委員会

1）活動報告
①ウェブの更新
②ヤングサイコロジストプログラムについて
　19 名が参加した。
③ニューズレター25 号の発行
2）今後の予定
　英語ページ作成分科会を年度内に開催し，毎月各企画ページのアップロードを行う。
3）ＮＩＩサーバーでの CGI の利用について
　CGI 機能を設置が承認された。

4）学会ＰＲ用のチラシについて
学会のアピールと入会の促進のため，ＰＲ用のチラシを作成することが承認された。

（4）国際交流委員会
首藤担当常任理事および小塩委員長の代理として，黒沢国際交流委員が報告した。
1）Gosling 氏講習会の報告
参加者は 24 名であった。
2）海外ニューズレターへの記事投稿
①ARP への記事（第 2 号）
Association for Research in Personality （ARP）の web ニューズレターである“P: The Online Newsletter for Personality Science”第２号に記事を投稿した。
②ARP への記事（第 3 号）
次号以降の記事についての内容は検討中である。
3）次年度海外研究者の招聘計画について
次年度の海外研究者について，お茶の水女子大学と連携して招聘する計画である。
4）依頼論文について
Gosling 氏への依頼原稿を検討している。

（5）選挙規程委員会

1）理事長直接選挙制について
会員の意思が反映されているのかどうかに力点を置き，原案を作成中である。
2）名誉会員について
検討中である。

⑥大会活性化委員会（理事長）
第 16 回大会発表賞候補者 6 名が承認された。
外山・市原「防衛的悲観主義者，方略的楽観主義者の学業成績の向上に関する研究」
田中・菅原・酒井・眞榮城「児童・思春期の抑うつ傾向に影響を及ぼす遺伝と環境」
本田・鈴木「賞賛獲得欲求と拒否回避欲求はどのくらい安定しているのか？」
尾見「質問紙調査法の人間観―「個性ある機械」としての人間―」
新田・堀毛「自己の可変性と制御焦点との関連について」
井上・有光「ＣＦＣ（未来結果熟慮）尺度日本語版の作成と信頼性・妥当性の検討」

2　日本心理学諸学会連合
報告事項なし。

3　臨床発達心理士関係

（1）認定運営機構（理事長）

報告事項なし。

（2）資格認定委員会（有光）

「臨床発達心理士」認定における本学会のメリットとデメリットが話し合われた。

4　事務局報告

（1）会勢報告
賛助会員 1 名，名誉会員 5 名，一般会員 525 名，院生会員 245 名，学生会員 5 名，計 781 名である。
（2）新入会員
7 名が正式に承認された。
（3）退会希望
退会希望者 1 名，会費未納に伴う退会者計 13 名が承認された。
（4）あて先不明者一覧
あて先不明者リストが提示された。
（5）以前の会員名簿について
日本性格心理学会 2000 年度会員名簿（約 120 冊）処分が提案され，承認された。
（6）議事録の承認
第 82 回常任理事会合同会議議事録および第 16 回理事会・第 83 回常任理事会合同会議議事録が承認された。

5　その他
①機関リポジトリ
機関誌編集員会の項目にて
②賛助会員入会促進について（杉山）
賛助会員へのメリットを明確にし，促進していく，具体的にいくつかの企業と交渉することが検討された。
③その他
なし。